

「洛中洛外図屏風(舟木本)」が特別展『京都』のグッズに



※写真はグリーティングカード4種 アートよみうり、各500円(税込)

日本テレビ開局60年特別展「京都—洛中洛外図と障壁画の美」が2013年10月8日(火)～12月1日(日)に東京国立博物館の平成館で開催されます。都の賑わいと四季の景観を描くC0008731-C0008734「洛中洛外図屏風(舟木本)」の画像が、様々なグッズに展開されました。

定番の絵葉書や一筆箋、クリアファイルはもとより、ポップアップ式のグリーティングカードやペーパークラフト、パッキンと割ると金箔がふんわり散る祝箸など一味違うグッズとなっています。他にもポケットダイアリー、マイクロファイバー(めがねふき)、チケットホルダー、クリアブックマーク、マグネット、ペーパーウエイト、額装品にも利用されました。

「長篠合戦図屏風」『日本史のなかの戦国時代』の表紙に



山田邦明著 日本史リブレット 83『日本史のなかの戦国時代』山川出版社、840円(税込)

7月に「もういちど読むシリーズ」で脚光を浴びた山川出版社から、歴史書の各論的シリーズの「日本史リブレット」の83巻『日本史のなかの戦国時代』が刊行されました。

戦国時代の象徴として表紙に取り上げられたのは、徳川美術館のTAM000167「長篠合戦図屏風(3～4扇)」。天下取りの主演、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三人が同じ場面に描かれている唯一の絵画作品です。

四季花鳥図巻が卓上カレンダーに

福寿草から群青の流水が添えられた燕子花までの春夏巻と、月下の萩に始まり雪降り積もる白梅に終わる秋冬巻。この二巻で構成された酒井抱一による花鳥図巻が卓上カレンダーになりました。季節の移ろいを美しい花鳥図柄とともに楽しむことができます。東京国立博物館のミュージアムショップでお求めいただけます。



アート印刷株式会社 卓上カレンダー 6枚+表紙1枚+おまけ1枚作品解説付 サイズ102×180mm 980円(税込) ※東京国立博物館のみでの販売になります。
①1月、2月
②3月、4月
③5月、6月
④7月、8月
⑤9月、10月
⑥11月、12月



『ゼミナール マーケティング入門』表紙にクレアの絵画



石井淳蔵・栗木 契・嶋口充輝・余田拓郎『ゼミナール マーケティング入門 第2版』日本経済新聞出版社、3,360円(税込)

ロングセラーテキストの最新版『ゼミナール マーケティング入門』の表紙に、パウル・クレア ZPKAKM008386「Gorge in the Alps」が採用されました。

用語や理論のみならず、日本企業の最新事例や身近なブランドの事例を踏まえ、実践に必要な考え方が、体系的にとっても読み易くまとめられています。パウル・クレアの絵画は、様々な媒体でご利用いただけます。

2013年10月7日発行
発行：大日本印刷株式会社
株式会社 DNP アートコミュニケーションズ
▶お問合せ：電話 03-6431-3702 / FAX 03-6431-3705
▶イメージアーカイブ営業時間：平日 9:30～17:30
<http://search.dnparchives.com/>
〒141-8001 東京都品川区西五反田 3-5-20 DNP 五反田ビル

IMAGE ARCHIVES NEWS LETTER

DNP Art Communications

2013/10

No.30

特集 ◆ 静嘉堂文庫美術館
イメージアーカイブ開始!

大日本印刷株式会社
株式会社 DNP アートコミュニケーションズ



静嘉堂文庫美術館イメージアーカイブを開始!

静嘉堂文庫美術館は、三菱第2代社長、岩崎彌之助と小彌太の父子二代が収集した、約6,500点の東洋古美術品を収蔵しています。世界に3つしか現存しない『曜変天目』を始めとする、国宝7点、重要文化財83点を含む所蔵品(文庫を含む)は、その質の高さで知られています。書籍・雑誌やテレビ番組、広告宣伝や商品開発などにご活用ください。



SAMA2033X020 酒井抱一「富士山図」(「絵手鑑」のうち)江戸(19世紀)



SAMA2022X001-SAMA2022X003 俵屋宗達「源氏物語閑屋・濤標図屏風」江戸(17世紀)

静嘉堂文庫美術館イメージアーカイブ / DNPpart.com

生田誠イメージアーカイブ、「駅」をテーマに新たに400点

絵葉書研究家のコレクション、生田誠イメージアーカイブに、新たに400点の『駅』をテーマとした作品が追加されました。絵葉書は、明治時代から始まりましたが、写真絵葉書の技術発達は遅く、殆どがモノクロ作品でした。モノクロ写真をカラー化する為、絵葉書に手彩色がされました。明治末より昭和初期の貴重な絵葉書から、東京駅や上野駅、浅草駅、大阪駅等の当時の姿を窺うことができます。



IMC000966 「東京駅」1910年代 生田誠コレクション・イメージアーカイブ / DNPpart.com



IMC000970 「東京駅」1930年代 生田誠コレクション・イメージアーカイブ / DNPpart.com



IMC000837 「大阪駅」1910年代 生田誠コレクション・イメージアーカイブ / DNPpart.com



IMC000999 「新宿駅」1930年代 生田誠コレクション・イメージアーカイブ / DNPpart.com



IMC000969 「東京駅」1910年代 生田誠コレクション・イメージアーカイブ / DNPpart.com



IMC000967 「東京駅」1910年代 生田誠コレクション・イメージアーカイブ / DNPpart.com



IMC000838 「梅田駅(阪急)」1930年代 生田誠コレクション・イメージアーカイブ / DNPpart.com



IMC000993 「浅草駅(東武)」1930年代 生田誠コレクション・イメージアーカイブ / DNPpart.com



IMC000994 「浅草駅(東武)」1930年代 生田誠コレクション・イメージアーカイブ / DNPpart.com



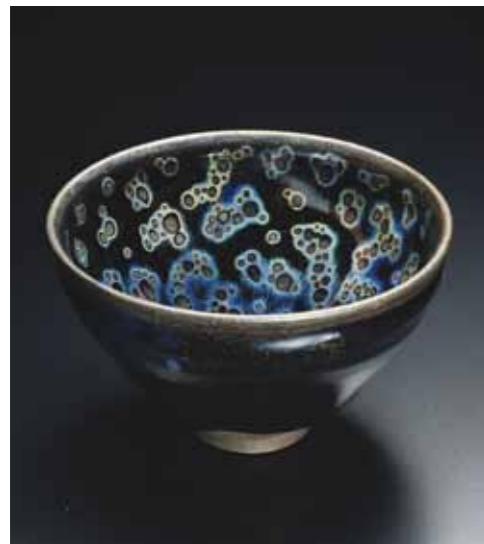
IMC000962 「東京駅(空撮)」1930年代 生田誠コレクション・イメージアーカイブ / DNPpart.com

静嘉堂文庫美術館イメージアーカイブ

MASTERPIECES OF SEIKADO COLLECTION

静嘉堂は、三菱財閥の創始者岩崎彌太郎の弟岩崎彌之助とその息子・岩崎小彌太、父子2代によって設立・拡充されました。堂号は、漢学を学んだ岩崎彌之助が中国の古典『詩経』にある句「籩豆静嘉」から取られたものです。国宝7点、重要文化財83点を含む約6,500点もの東洋古美術品を収蔵。これらの収蔵品画像をご利用いただけます。

▶ 画像を利用される場合は、クレジット表示をお願いします。
静嘉堂文庫美術館イメージアーカイブ / DNPartcom



SAMB1031X001 「曜変天目(「稲葉天目」)」南宋(12～13世紀)

「曜変天目」(「稲葉天目」)

漆黒の夜空に、満天の星を見るかのような、神秘的な美しさをもつ曜変天目。「曜変」とは、茶碗の見込みに青い輝きをもった斑文が現れたもの、「天目」とは、広義に黒釉茶碗に対する日本での呼称です。伝存する曜変天目は世界に三碗のみ。いずれも日本にあり、そのうち最も華やかな作例が静嘉堂所蔵の一碗です。

本碗は、淀藩主稲葉家に長く伝えられたことにより、「稲葉天目」とも呼ばれています。



SAME016 「唐物茄子茶入、付茄子大名物」南宋～元(13～14世紀)



SAME046 古田織部「竹二重切花入」桃山(16～17世紀)



SAMB1047X001 「青磁浮牡丹太鼓胴水指」南宋～元(13～14世紀)



SAMA1103X001 沈南蘋「老圃秋容図」清・雍正9年(1731)



SAMA2024 尾形光琳「鶉船図」江戸(17世紀)



SAMA2057 円山応挙「江口君図」江戸・寛政6年(1794)



SAMA2209 高久露厓「楊貴妃図」江戸・文政4年(1821)



SAMA1005X001 「第一泰広王(十王園・二使者図)のうち」元時代後期(14世紀)



SAMG012X004 「太刀・銘・包永・姿」太刀:鎌倉(13世紀)



SAMA1022X001 (伝)馬遠「風雨山水図」南宋(13世紀)



SAMA2075X001, SAMA2075X002 橋本雅邦「龍虎図屏風」明治28年(1895)



SAMA2002X015 「平治物語絵巻 信西巻」(部分)鎌倉(13世紀)



SAMA2034X001, SAMA2034X002 酒井抱一「波図屏風」(右隻)江戸・文化12年(1815)頃



SAMA1010 因陀羅「禅機図断簡 智常禅師図」元(14世紀)



SAMC1008X003 趙孟頫「与中峰明本尺牘」元(14世紀)



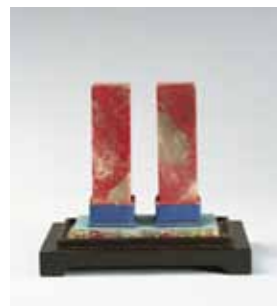
SAMB1011X001 「三彩獅子一對」唐(8世紀)



SAMB1036 「青磁香炉」南宋(12～13世紀)



SAMB1100X001 「青花磁脂紅龍鳳文瓶」一對 清・乾隆年間(1736～95)



SAML25001 「鶏血方印 対額」清(19世紀)



SAMB2002X002 野々村仁清「色絵吉野山図茶壺」江戸(17世紀)



SAMD2006X001 尾形光琳「住之江蒔絵碗箱」江戸(18世紀)



SAMB2006 「色絵牡丹文水注」江戸(17～18世紀)



SAMD1242 印籠:原羊遊齋 根付:作者不詳「雪華蒔絵印籠・雪華文鏡蓋根付」江戸(19世紀)



SAMA2051X001, SAMA2051X002 「四条河原遊楽図屏風」江戸(17世紀)



SAMA2001X001 「普賢菩薩像」鎌倉(13世紀)



SAMF2002X007 「木造十二神將立像亥神」鎌倉(13世紀)